

2021 年度 公立千歳科学技術大学 理工学部

一般選抜 前期日程 解答例

数学

注 下線の部分が解答

1.

- (1) $x = -3, -1$ (2) $\theta = \frac{\pi}{4}$ (3) $f(x) = x^2 - \frac{2}{3}$ (4) $-2 < a < 0$
(5) 138600 通り (6) 18 (7) 2366 (8) $x = 63$

2. $n=1$ のとき, $n(n^2+2) = 1 \times (1^2+2) = 3$ であるから, $n(n^2+2)$ は 3 の倍数である。

$n=k$ のとき, $k(k^2+2)$ が 3 の倍数であると仮定すると, ある正の整数 m が存在して $k(k^2+2) = 3m$ と書くことができる。

$n=k+1$ のとき,

$$\begin{aligned} n(n^2+2) &= (k+1)\{(k+1)^2+2\} = (k+1)(k^2+2k+3) = k^3+2k^2+3k+k^2+2k+3 \\ &= k(k^2+2)+3(k^2+k+1) = 3m+3(k^2+k+1) \\ &= 3(m+k^2+k+1) \end{aligned}$$

となり, $n=k+1$ のときも $n(n^2+2)$ は 3 の倍数である。

よって, 数学的帰納法により, すべての正の整数 n について $n(n^2+2)$ は 3 の倍数である。

3.

(1) 接点 P の座標を (t, t^2-1) とする。 $y = x^2 - 1$ に対して $y' = 2x$ であるから, 点 P における接線 ℓ は $y = 2t(x-t) + t^2 - 1 = 2tx - t^2 - 1 \dots \textcircled{1}$ となる。

$t=0$ のとき, 直線 OP は y 軸となり, $\textcircled{1}$ は $y = -1$ であるから両者は直交する。

$t \neq 0$ のとき, 直線 OP の傾きは $\frac{t^2-1}{t}$ となる。したがって, 直線 OP と接線 ℓ が直交する

とき, $2t \cdot \frac{t^2-1}{t} = 2(t^2-1) = -1$ となるから, $t = \pm \frac{\sqrt{2}}{2}$ である。

以上から, 接線 ℓ と対応する点 P の座標は以下のとおりである。

$\ell: y = -1,$ $P: (0, -1),$

$$\ell: y = \sqrt{2}x - \frac{3}{2}, \quad P: \left(\frac{\sqrt{2}}{2}, -\frac{1}{2} \right),$$

$$\ell: y = -\sqrt{2}x - \frac{3}{2}, \quad P: \left(-\frac{\sqrt{2}}{2}, -\frac{1}{2} \right)$$

(2) (1) より $\ell_1: y = \sqrt{2}x - \frac{3}{2}$, $\ell_2: y = -\sqrt{2}x - \frac{3}{2}$ となる。

面積を求める部分は y 軸に対して対称であるから、求める面積は以下のようになる。

$$\begin{aligned} S &= 2 \times \int_0^{\frac{\sqrt{2}}{2}} \left\{ x^2 - 1 - \left(\sqrt{2}x - \frac{3}{2} \right) \right\} dx = 2 \times \int_0^{\frac{\sqrt{2}}{2}} \left(x^2 - \sqrt{2}x + \frac{1}{2} \right) dx \\ &= 2 \times \left[\frac{1}{3}x^3 - \frac{\sqrt{2}}{2}x^2 + \frac{1}{2}x \right]_0^{\frac{\sqrt{2}}{2}} = 2 \times \left(\frac{1}{3} \cdot \frac{2\sqrt{2}}{8} - \frac{\sqrt{2}}{2} \cdot \frac{2}{4} + \frac{1}{2} \cdot \frac{\sqrt{2}}{2} \right) \\ &= 2 \times \left(\frac{\sqrt{2}}{12} - \frac{\sqrt{2}}{4} + \frac{\sqrt{2}}{4} \right) = \frac{\sqrt{2}}{6} \end{aligned}$$

4. $\cos \theta = t$ とおくと $-1 \leq t \leq 1$ である。 y を t で表すと

$$y = 2t^2 - 3t - 5 = 2 \left(t - \frac{3}{4} \right)^2 - \frac{49}{8}$$

である。

以上から、 y の最小値は $-\frac{49}{8}$ である。

$t = -1$ のとき $y = 2 \cdot (-1)^2 - 3 \cdot (-1) - 5 = 0$ となるから、 y の最大値は 0 である。